

金津中だより



令和6年4月吉日発行

TEL : 0250-22-0387

FAX : 0250-22-6586

<文責> 教頭 祝 貴浩

令和5年度終了をもって6名の職員の皆様が転退職されました。大変お世話になりました。新たな環境の中でのご活躍をお祈り申し上げます！また、新たに6名の職員が転入しました。職員一丸となって金津中学校の教育活動に取り組んでいきます。令和6年度も、地域・保護者の皆様からのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<転出・退職された職員>

渡邊 貴俊校長 新潟市教育委員会学校人事課へ

<転入された職員>

武樋 伸明校長 新潟市立新津第一中学校より

配付プリントには掲載しています

●41名の新入生が入学し、令和6年度の教育課程がスタートしました

去る4月8日（月）に令和6年度入学式が行われました。当日は、多くのご来賓の皆様からご臨席を賜り、新入生の門出をお祝いしていただきました。真新しい制服に身を包んだ一年生も入場した時には、緊張の面持ちでしたが、入学式終了後の新しい担任との学級活動では、表情もほころび笑顔もみられるようになりました。この日は、中学校1年生で使用

配付プリントには掲載しています

する全教科書が配付され、重い通学カバンを背負っての下校となりました。一日も早く中学校の生活に慣れ、自分らしさを出して中学校生活を送ってほしいと思います。

●入学式校長式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。PTA会長様をはじめ、ご来賓の皆様、ご臨席賜りありがとうございます。

本日、晴れて金津中学校の生徒となった皆さんに、校長から贈る言葉は「伝える」ことの大切さです。伝えることが大切なのは、伝えることによって、自分がつくられるからです。

皆さんは、何か新しいものを見たり聞いたり、体験したとき、人に言いたくなりませんか。「今日、褒められたよ」「流れ星を見たよ」など、何か新しい出来事があったときに、友達や先生や家族に話したくなりませんか。その状況を言葉で「伝える」ことによって、出来事を整理し、自分の中の確かな出来事にしていきます。「伝える」ことは見たり聞いたりしたことを自分の言葉で表現していくことです。このことがとても大切であり、自分自身の出来事になっていきます。

「伝える」ことによって自分がつくられ、言葉にできなければ、自分がつくられないといっても言い過ぎではないと思います。「伝える」ことはとても大切です。聞いただけでは、自分の知識になりません。本当の知識になるためには、伝えることができなければなりません。ここで聞いたと、伝えるとの間には、大きな壁があります。

伝えるためには、何が重要なのか、何がおもしろいのかを、瞬時に整理しなければなりません。しかもそれを、相手がわかりやすいように自分の言葉で語り直さなければなりません。自分の言葉になっていない時は、自分の知識になっていない証拠です。ですから、壁に向かってでもいいですし、家族でもいいですし、日記や生活ノートでもいいです。何か新しいことを聞いたときには、伝えてみてください。語り直してみてください。そうすれば、自分の知識になります。

大リーガーの大谷選手をはじめ、一流のスポーツ選手は小学校からノートをつくっていることが報告されています。目標を定め、自分の問題を見つめ、考えていく。ノートを作り自分と対話して自分をつくっていくことは素晴らしい。

しかし生活の中で、成功ばかりではなく、大失敗や悲しい思いをした時にも「伝える」ことは大切です。とても落ち込んでいる時は、言葉を失っています。でも、言葉にして、その状況を伝えられるようになると、自分を取り戻していきます。「こんな大失敗しちゃった」「私って馬鹿だよ」と言葉にできたなら、ほとんど解決しています。その失敗や悲しみは自分に襲いかかるものではなく、自分を成長させる出来事になっています。

「伝える」ことは訓練次第で上達します。しかし「伝わる」かどうかは別です。今、私が「伝えて」いますが、「伝わっている」かどうかはわかりません。同じことを同じよう

配付プリントには掲載しています

に言っても、私が言って伝わらないけど、違う人が言えば伝わることもあります。正しいことを言えば必ず伝わるかと言えば、そういうわけでもありません。言葉だけではありません。歌、絵画、ダンス、動作で思いを「伝える」ことはできます。でも、それが「伝わる」かどうかわかりません。しかし、言葉がなくても、言葉以上に伝わることもあります。

「伝わる」にはどうすればいいのでしょうか。正解があるわけではないと思います。「伝わる」かどうかは、実は「伝える」前に決まっているのかもしれないかもしれません。お互いがお互いを認め合うような「伝わる」関係ができてしまえば、何を言っても、あるいは言わなくても伝わりやすくなるのかもしれないかもしれません。また、伝える側の、誠意、優しさ、ユーモア、考え方といった、目に見えない何かの影響を与えているのかもしれないかもしれません。

「伝える」ことの大切さと「伝わる」ことの難しさ。これからも、自分が自分であるために「伝える」ことを大切にしていってください。そして、「伝わる」にはどうすればいいのか、考えていってください。まずは、自分の夢を伝えられる生徒になりましょう。夢が定まっていなければ、それを言葉にしてみましょ。そこから始まります。

保護者の皆様、学校との関係性を深め、お子様に「伝える」力をつけてくださるようお願いいたします。その際には、お子様が人のせいにならず、主体的に考え、自分の言葉で自分をつくっていけるよう、ご支援いただくようお願いいたします。以上で、校長の式辞といたします。

令和6年4月8日 金津中学校 校長 武樋伸明

●3年生が修学旅行に出かけます

来る4月25日（木）～27日（土）と3年生が関西方面に修学旅行に出かけます。行程は次のとおりです。

<4月25日(木)>

6:20 学校発→7:10 新潟空港着→8:45 新潟空港発→9:55 伊丹空港着→12:00 京都駅着

【京都市内班別自主研修(タシ-研修)】→17:00 京都駅着→大阪駅→USC 駅→18:10 宿舎着

<4月26日(金)>

8:15 宿舎発→8:30 ユニバーサルスタジオジャパン 14:10 発→15:00 奈良公園着→17:30 宿舎着

<4月27日(土)>

8:40 宿舎発→9:00 薬師寺 10:30 発→11:30 大阪(新世界商店街) 15:00 発→15:30 伊丹空港着

17:20 伊丹空港発→18:25 新潟空港着→19:00 新潟空港発→19:50 学校着(解散)

当校では、総合的な学習の時間に、「ふるさと金津学習」と称し、中学校3年間を通して、金津地区や秋葉区などについて学習をしています。地域を学び、そして他の地域を学び比較することによって、地域の良さを実感し、課題を見つけ、3年時に3年間のまとめとして地域への提言を行うというものです。当該学年は、昨年、地域に出かけ街頭での秋葉区の課題についてインタビュー活動を行いました。今回の修学旅行でも、日本を代表する観光地京都や大阪の取り組み等について、現地の人にインタビュー活動を行ってくる予定です。京都の八つ橋とユニバのお土産だけでなく、それ以外にもたくさんのお土産をもって帰ってくださることと思います。充実した思い出に残る修学旅行にしてきてください。